# 議会だより しすい

編集・発行/酒々井町議会
〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171（代表）
No.201
令和3（2021）年10月31日発行

写真／子育て支援センターあいあい
ハロウィンウィーク

撮影時のみマスクを外しています

9月定例会

条例制定や補正予算などの議案審議・・・・P2～P5
委員会・本会議での審議結果・・・・・・・・・P6～P7
一般質問 コロナの緊急事態宣言により文書質問として
議員11名が町政を問う・・・・・・・・・・・・・・P8～P14
こども模擬議会（文書による質問）・・・・・・・P15～P16

議会HPはこちらからCheck!

## 9月定例会

# 環境保全条例を制定

## 地球温暖化防止に向けての対策

パルスオキシメーター
（動脈血中酸素飽和濃度測定器）の貸し出し

支援物資（衛生用品等）提供

新型コロナウイルス感染症により自宅療養をされている方への支援
【お申し込み・お問い合わせ】酒々井町保健センター　新型コロナウイルス感染症対策室
☎043−496−0090

### 9月定例会概要

9月定例会は、9月2日から9月9日までの8日間の会期で開催され、町長から提案された議案11件と諮問1件、報告2件、議員から提案された請願1件及び発議案1件について、それぞれ審議を行いました。審議の結果、各会計決算と請願を除く議案及び発議案は原案のとおり可決しました。

なお、緊急事態宣言の発令に伴い、各会計決算については、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

さらに、議場での一般質問は行わず、文書による質問に回答する「文書質問」が町議会では初めて実施されました。

文書質問では、11名の議員が新型コロナウイルス感染症対策や通学路、防災対策など町政全般について質問しました。

また、行政報告では、町長から「町と京成電鉄株式会社との包括的な連携に関する協定の締結」や「空き家対策の推進に関する協定の締結」「新型コロナウイルス感染症に係る町の対応」など4件、教育長からは「青少年交流の家に係る提訴の経過報告について」1件の報告が行われました。

### 議　案

■議案第1号■
**環境保全条例の制定**

町の公害防止条例の効力が今後の環境課題の対応には不十分となってきており、これまでの産業型公害にプラスして都市・生活型公害に対応するため、「酒々井町公害防止条例」を廃止し、新たに「酒々井町環境保全条例」を制定するもの。

**※全員賛成で可決**

■議案第2号■
**手数料条例の一部改正**

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正により、地方公共団体情報システム機構がマイナンバーカードを発行するものと明確化されたため、当該手数料の規定を改正するもの。

**※全員賛成で可決**

■議案第3号、4号、5号■
**一般会計、各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の歳入歳出決算認定**

議員6名による決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査とすることに決定。

ことば　継続審査とは会期中に議決されなかった案件を、議会の議決によって、閉会中も引き継ぎ審査すること。

■議案第6号■

## 一般会計を増額補正

歳出の主な内容は、特別出産給付金の他、感染症対応に伴う避難所用備品購入費、自宅療養者等への支援物資、放課後児童クラブ事業、ひとり親家庭等医療費、再生可能エネルギー導入目標策定事業、除草・街路樹剪定業務、道路区画線工事・舗装打ち換え工事等の道路維持経費、馬橋川補修工事等の緊急を要する経費等を計上するもの。

歳入では、各事業費の増に伴う国県支出金の増額、額の決定に伴う普通交付税、臨時財政対策債の増額、令和2年度決算に伴う各特別会計からの繰入金及び繰越金を増額するもの。

**※賛成多数で可決**

<一般会計補正予算額>

| | |
|---|---|
| 補正前 | 66億6,308万9千円 |
| 補正額 | 1億8,578万8千円 |
| 合　計 | 68億4,887万7千円 |

# 討論

## 事業内容や実績の十分な説明なく税金を投入することに反対

御園生　浩士　議員

放課後児童クラブ事業321万7千円の質疑に対し、事業の需要と供給は逼迫した状況ではなく待機者はいないと答弁があったが、明確な答弁はなかった。

過去に町長は、2事業者から3事業者に増える時、酒々井小・大室台小での2事業者に、昭苑こども園の事業が加わることで競争が生まれ、価格やサービスがより良くなり、利用者にメリットがあると発言された。そのメリットを利用者は享受されているのか疑問が残る。

大室台小では事業の存続ができず、町が事業を継続することになったが、結局、町運営時以上の予算措置をして町社会福祉協議会に委託となった。このように事業を運営することは大変な苦労がある。個人では高齢化に対処できず、事業者数が多くなれば需要と供給のバランスが崩れ施設が閉鎖に追い込まれ、結局、受け皿がなくなり、利用者が苦慮することになる。

## 【議案第6号・第11号】馬橋川改修工事等補正予算は評価し賛成 危険な通学路の早急な事業化を

竹尾　忠雄　議員

国からの地方創生臨時交付金等を活用し、特別出産給付金やワクチン接種業務の時間外・休日加算金の支給、トケ崎の内水対策、馬橋川補修工事費など町民の願う事業への補正予算を評価する。

一方で、八街市での事故を受け通学路の調査を行い8箇所の危険箇所に対し、「白線を引く」などわずか9百万円の予算となっている。上岩橋上郷地先福美造園下の危険箇所の改修計画もない。現在、51名が自転車通学をしているが町長には生徒の命を守る姿勢が見られない。

次に、上岩橋トケ崎地域に内水対策排水ポンプ設置のため用地購入費2969万円計上された。全体事業費は約1億3百万円。2年前の台風で中川河川から内側に水が入り内水が上昇した。内側に水が入らないよう補修を行うよう要望して賛成とする。

## 【議案第6号・第11号】心温まる助成金など町民の一助となる補正予算に賛成

小早稲　美穂　議員

骨髄等ドナー支援事業助成金が増額補正された。町民の方により命が救われていることがとてもうれしく心温まる思いになった。大室台小学校や町社会福祉協議会のシトラスリボン運動と同じように、町民に思いやりの心がさらに広がるよう願う。

次に、私は新型コロナウイルス感染者が町で報告された時から自宅療養者への支援をお願いしてきた。この度、自宅療養者へ衛生用品等支援物資の提供が始まった。ぜひ、新型コロナウイルス感染症対策室へ連絡をし、相談と支援を受けていただきたい。

さらに、中川の治水対策の一環として、被害が少しでも抑えられ、助けとなる雨水排水対策が行われる。

補正予算の多くは、町民の一助となるものであり、少しでも町民の安全安心を目指し賛成する。

■議案第7号■

## 国民健康保険特別会計を増額補正

歳出の主なものは、令和3年度国民健康保険事業費納付金額の決定に伴い、現予算に不足が生じるため増額するもの。

歳入の主なものは、令和2年度決算の確定に伴い、繰越金を増額するもの。

**※全員賛成で可決**

<国民健康保険特別会計補正予算額>

| | |
|---|---|
| 補正前 | 22億7,258万9千円 |
| 補正額 | 233万1千円 |
| 合　計 | 22億7,492万円 |

■議案第8号■

## 介護保険特別会計を増額補正

令和2年度決算の確定に伴うものを補正するもの。

歳出は、基金積立金、国・県・支払基金への償還金及び一般会

計への繰出金を増額し、歳入は、国庫支出金及び繰越金を増額するもの。

※全員賛成で可決

<介護保険特別会計補正予算額>

| | |
|---|---|
| 補正前 | 13億2,544万6千円 |
| 補正額 | 4,001万7千円 |
| 合　計 | 13億6,546万3千円 |

■議案第9号■
## 後期高齢者医療特別会計を増額補正

<後期高齢者医療特別会計補正予算額>

| | |
|---|---|
| 補正前 | 3億1,415万9千円 |
| 補正額 | 95万2千円 |
| 合　計 | 3億1,511万1千円 |

令和2年度決算の確定に伴うものを補正するもの。

歳出は、千葉県後期高齢者医療広域連合への納付金及び一般会計への繰出金を増額し、歳入は、繰越金を増額するもの。

※全員賛成で可決

■議案第10号■
## 水道事業会計を補正

収益的支出、資本的支出のいずれも人事異動に伴う人件費の補正を行うもの。

※全員賛成で可決

<水道事業会計補正予算額>

| 区分 | | |
|---|---|---|
| 収益的支出 | 補正前 | 4億2,461万円 |
| | 補正額 | 512万5千円 |
| | 合　計 | 4億2,973万5千円 |
| 資本的支出 | 補正前 | 2億9,398万3千円 |
| | 補正額 | ▲158万9千円 |
| | 合　計 | 2億9,239万4千円 |

■議案第11号■
## 下水道事業会計を増額補正

収益的支出については、東酒々井第二中継ポンプ場汚水ポンプ交換工事、資本的支出は、上岩橋地先雨水ポンプ場整備事業にかかる委託料、補償費、土地購入費を増額するもの。資本的収入は、その事業費を一般会計出資金で補填するもの。

※全員賛成で可決

<下水道事業会計補正予算額>

| 区分 | | |
|---|---|---|
| 収益的支出 | 補正前 | 4億5,711万5千円 |
| | 補正額 | 330万円 |
| | 合　計 | 4億6,041万5千円 |
| 資本的支出 | 補正前 | 1億3,033万2千円 |
| | 補正額 | 2,969万円 |
| | 合　計 | 1億6,002万2千円 |

# 諮問

■諮問第1号■
## 柳橋氏を人権擁護委員に推薦

任期満了に伴い、人権問題に深い理解があり人権擁護委員として実績のある柳橋康代（やなぎばしやすよ）氏を引き続き候補者として推薦するため、議会に意見を求めるもの。

任期は、令和4年1月1日から3年。

※全員賛成で適任

柳橋　康代　氏

▼**人権擁護委員**…人権擁護委員法で規定されており、人権相談を受けるほか、人権思想の普及に努める法務大臣委嘱の民間ボランティアです。委嘱にあたっては、町長が議会の意見を聞いて、候補者を大臣に推薦することとなっています。

# 報告

■報告第1号■
## 一般会計予算継続費精算報告書を議会に報告

平成28年度から令和2年度までの継続事業として実施した「防災行政無線（同報系）整備事業」、平成30年度から令和2年度までの継続事業として実施した「固定資産評価基礎資料整備及び土地評価業務」及び令和元年度から令和2年度までの継続事業として実施した「中央公民館施設整備事業」が終了したことから、規定により議会へ報告するもの。

■報告第2号■
## 財政健全化判断比率及び資金不足比率を議会に報告

監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。

一般会計と公営企業会計を含む全会計で赤字額は無いが、借入金の負担の程度を示す「実質

公債費比率」及び将来負担しなければならない債務の程度を示す「将来負担比率」は上昇した。しかし、いずれも早期健全化の基準値を大きく下回っていることから健全段階にあり、「資金不足比率」についても、資金不足額がないため該当しないことを報告するもの。

# 発議案

## ■発議案第1号■
## コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項の実現を国に要望するもの。

1　令和4年度以降3年間の一般財源総額の確保。

2　固定資産税制度の根幹を揺るがす見直しは行わないこと。感染症緊急経済対策としての特例措置が継続となれば、国費で全額補填すること。

3　土地に係る固定資産税の課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置は、令和3年度限りとすること。

4　自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長は行わないこと。

5　炭素に係る税を創設・拡充する場合には、その一部を地方税または地方贈与税として地方に税源配分すること。

**※全員賛成で可決**

# 請　願

## ■請願第4号■
## 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める請願書

次の事項を国に要請するもの。

1　辺野古新基地建設工事を中止し、普天間基地を運用停止にすること。戦没者の遺骨の残る沖縄島南部から採取した土砂を埋め立てに使用することは認められるべきではないこと。

2　国民的議論を行い、最終的には国会で沖縄の米軍基地の負担軽減を国が責任をもって行う法整備等の仕組みの中で解決すること。

3　普天間基地の代替施設が国内に必要だという結論になるのなら、沖縄以外の全国の自治体を等しく候補地とし、憲法の規定に基づき、沖縄以外でも一地域への一方的な押し付けとならないよう、公平かつ民主的な手続きにより決定すること。

**※賛成少数で不採択**

# 討　論

**新基地建設と普天間基地運用停止**
**そのために国民的議論を行うことに賛成**
**地福　美枝子　議員**

今回の意見書案が辺野古新基地建設と普天間基地の運用停止を求め国民的議論を提起していることに賛同できる。

もともと、沖縄県に多くの米軍基地を建設してきた、その大本は日米安保条約という、不平等条約である。さらに不平等協定の地位協定については、全国知事会でも改定が必要と出されている。沖縄県民と本土の国民が連帯、連携して、辺野古新基地建設中止と普天間基地の閉鎖・撤去を求めて国民的な運動と世論を広げることが必要である。

しかし、案文にある「普天間基地の代替施設について、沖縄以外の全国すべての自治体を等しく候補地とすること」という点については、賛成できない。あくまでも辺野古新基地建設の中止と国民的議論を行うことに賛成するものである。

## 選挙管理委員・補充員選挙

令和3年10月29日をもって任期満了となる選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙を9月定例会最終日に行いました。議長による指名推選でそれぞれ4人の方が当選しました。

**▼選挙管理委員会…**選挙管理委員会は、公正な選挙を行うため、地方自治法に基づいて設置された独立機関です。選挙の管理執行を行うことをはじめ、選挙人名簿の調製など選挙に関する事務を管理します。議会で選挙された4人の委員で構成され、委員が万が一欠けた場合に備えて、補充員が4人選挙されています。委員の任期は4年です。

### 選挙管理委員

安田（やすだ）　文雄（ふみお）　氏
小林（こばやし）　静江（しずえ）　氏
深山（みやま）　敏行（としゆき）　氏
鵜澤（うざわ）　登美子（とみこ）　氏

### 補充員

第一順位　福田（ふくだ）　喜一郎（きいちろう）　氏
第二順位　鶴岡（つるおか）　英夫（ひでお）　氏
第三順位　青山（あおやま）　泉（いずみ）　氏
第四順位　篠原（しのはら）　透（とおる）　氏

# 各常任委員会での審査結果

◎…委員長　○…副委員長

## 総務常任委員会

■総務課、企画財政課、税務住民課、会計室、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、その他の事務についての審査を担当

委員　◎御園生／○内海
川島／竹尾
小早稲

| | 件　名（件名は一部省略） | 審査の結果 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 賛成 | 反対 | 結果 |
| 議案第２号 | 手数料条例の一部改正 | 4 | 0 | 原案可決 |
| 議案第６号 | 令和３年度一般会計補正予算（第３号）※委員会担当分野 | 4 | 0 | 原案可決 |
| 請願第４号 | 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める請願書 | 2 | 2 | 不採択（委員長裁決） |

## 教育民生常任委員会

■住民協働課、健康福祉課、教育委員会についての審査を担当

委員　◎地福／○白井
佐藤／齊藤
金塚／酒瀬川

| | 件　名（件名は一部省略） | 審査の結果 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 賛成 | 反対 | 結果 |
| 議案第６号 | 令和３年度一般会計補正予算（第３号）※委員会担当分野 | 5 | 0 | 原案可決 |
| 議案第７号 | 令和３年度国民健康保険特別会計補正予算（第１号） | 5 | 0 | 原案可決 |
| 議案第８号 | 令和３年度介護保険特別会計補正予算（第１号） | 5 | 0 | 原案可決 |
| 議案第９号 | 令和３年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号） | 5 | 0 | 原案可決 |

## 経済建設常任委員会

■経済環境課、まちづくり課、上下水道課、農業委員会についての審査を担当

委員　◎須藤／○大石
髙﨑／越川
江澤

| | 件　名（件名は一部省略） | 審査の結果 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 賛成 | 反対 | 結果 |
| 議案第１号 | 環境保全条例の制定 | 4 | 0 | 原案可決 |
| 議案第６号 | 令和３年度一般会計補正予算（第３号）※委員会担当分野 | 4 | 0 | 原案可決 |
| 議案第10号 | 令和３年度水道事業会計補正予算（第１号） | 4 | 0 | 原案可決 |
| 議案第11号 | 令和３年度下水道事業会計補正予算（第２号） | 4 | 0 | 原案可決 |

# 本会議での 議決結果

## 議案と議決結果（町長提出のもの）

賛成・・○　　反対・・×　　議長は採決に加わりません。

| 番号 | 件　名<br>（件名は一部省略） | 本会議の採決結果 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 採決結果 | 小早稲 | 白井 | 大石 | 酒瀬川 | 金塚 | 須藤 | 御園生 | 川島 議長 | 齊藤 | 内海 | 佐藤 | 江澤 | 竹尾 | 地福 | 越川 | 髙崎 |
| <条例の制定> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 環境保全条例の制定 | 可　決<br>（賛15・否0） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| <条例の一部改正> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 手数料条例の一部改正 | 可　決<br>（賛15・否0） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| <令和２年度決算認定> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定 | 閉会中の<br>継続審査 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 水道事業会計決算の認定 | 閉会中の<br>継続審査 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 下水道事業会計決算の認定 | 閉会中の<br>継続審査 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <令和３年度補正予算> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 一般会計補正予算（第３号） | 可　決<br>（賛14・否1） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 7 | 国民健康保険特別会計補正予算（第１号） | 可　決<br>（賛15・否0） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 8 | 介護保険特別会計補正予算（第１号） | 可　決<br>（賛15・否0） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9 | 後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号） | 可　決<br>（賛15・否0） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10 | 水道事業会計補正予算（第１号） | 可　決<br>（賛15・否0） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 11 | 下水道事業会計補正予算（第２号） | 可　決<br>（賛15・否0） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| <諮問> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 人権擁護委員候補者の推薦（柳橋 康代氏） | 適　任<br>（賛15・否0） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| <請願> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める請願書 | 不採択<br>（賛4・否11） | × | ○ | × | × | × | × | × | — | ○ | × | × | × | ○ | ○ | × | × |
| <発議案>議員提出による議案 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書<br>（提出者　内海 和雄 議員 他５名） | 可　決<br>（賛15・否0） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| | | |
|---|---|---|
| ①<br>P9 | 大石　法子 議員 | ・ＰＣＲ検査の対象拡大の考えはあるのか<br>・災害対応<br>・通学路の安全 |
| ②<br>P10 | 酒瀬川芳子 議員 | ・通学路の交通安全の確保<br>・県道宗吾酒々井線の交通安全対策<br>・町の街路樹や公園などの樹木の植栽 |
| ③<br>P10 | 金塚　　学 議員 | ・安心・安全で住みよいまちづくりの推進<br>・通学路の安全対策<br>・新型コロナウイルス感染症の対策 |
| ④<br>P11 | 須藤　伸次 議員 | ・町税の税収アップ策 |
| ⑤<br>P11 | 佐藤　修二 議員 | ・コロナ感染対策<br>・第６次総合計画（素案）基本構想<br>・豪雨や強風による災害対策関連 |
| ⑥<br>P12 | 白井　則邦 議員 | ・空き家への対応<br>・プラスチック資源循環促進法への対応<br>・会計年度任用職員 |
| ⑦<br>P12 | 齊藤　　博 議員 | ・小坂町長の資産報告<br>・家族介護慰労金支給事業<br>・ちびっこ天国の廃園<br>・ＪＡ跡地の活用 |
| ⑧<br>P13 | 小早稲美穂 議員 | ・酒々井町の子ども子育て |
| ⑨<br>P13 | 御園生浩士 議員 | ・道路事業<br>・ＳＤＧｓ<br>・新型コロナウイルス感染症 |
| ⑩<br>P14 | 竹尾　忠雄 議員 | ・旧ＪＡ東酒々井支店の利用<br>・安全な通学路は急務<br>・生産者米価大暴落<br>・緊急車両が通れる町道の改善<br>・新型コロナウイルス感染症爆発に対する対応 |
| ⑪<br>P14 | 地福美枝子 議員 | ・６月議会に要望した教育関係３点の検討状況<br>・国保税の軽減<br>・学校給食費 |

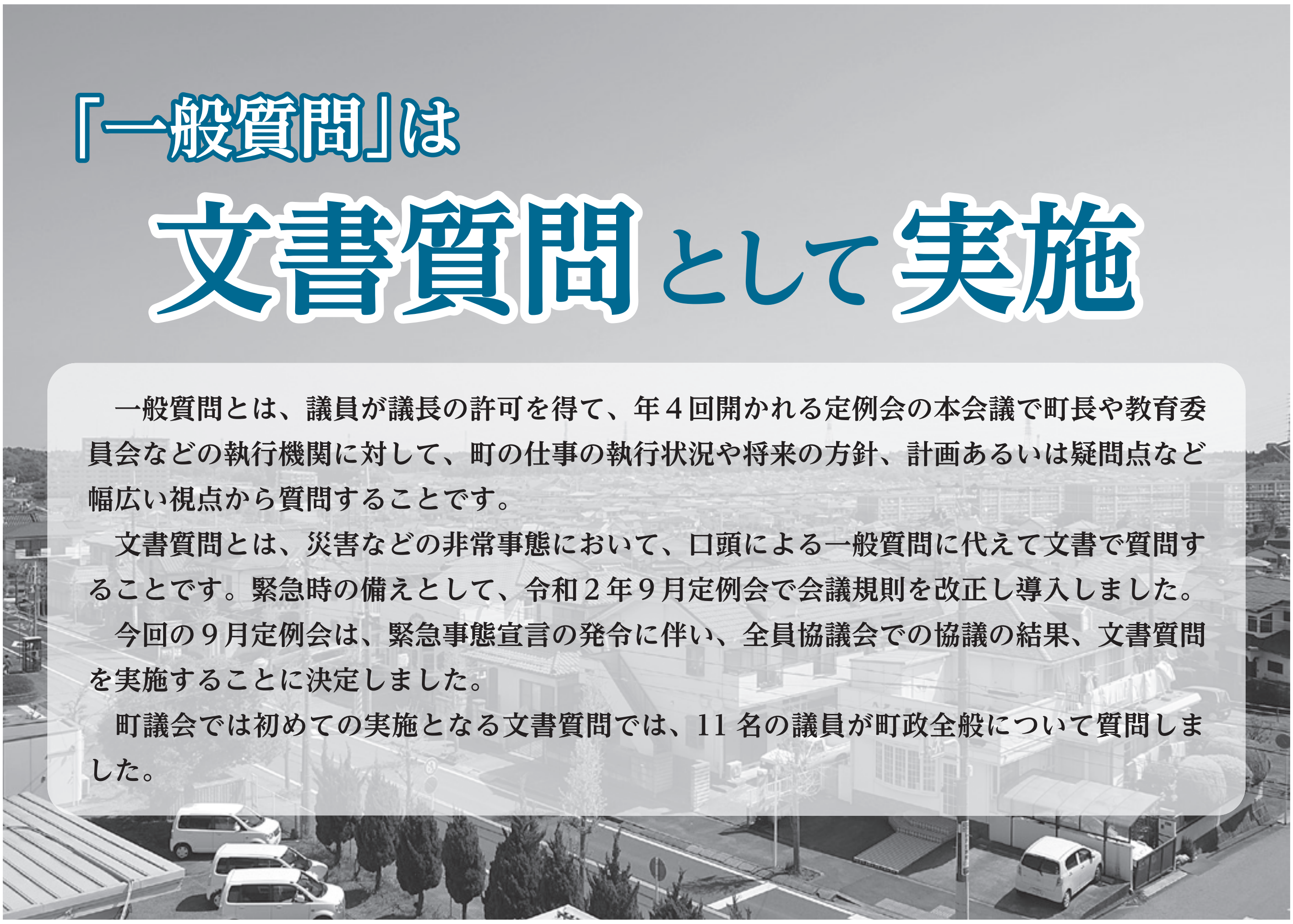
＝一般質問＝

# 文書質問

# ここが聞きたい 町の考えを問う

各議員の質問と答弁を要約した内容を質問順に掲載します。各議員の質問事項については、本紙に掲載してある質問をゴシック体で表記しています。

※今回の第５回定例会の会議録（12 月上旬発行予定）は、インターネットまたは図書館でご覧いただけます。



# 「一般質問」は 文書質問として実施

一般質問とは、議員が議長の許可を得て、年４回開かれる定例会の本会議で町長や教育委員会などの執行機関に対して、町の仕事の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点など幅広い視点から質問することです。

文書質問とは、災害などの非常事態において、口頭による一般質問に代えて文書で質問することです。緊急時の備えとして、令和２年９月定例会で会議規則を改正し導入しました。

今回の９月定例会は、緊急事態宣言の発令に伴い、全員協議会での協議の結果、文書質問を実施することに決定しました。

町議会では初めての実施となる文書質問では、11 名の議員が町政全般について質問しました。

## 問　PCR検査の対象者を拡大すべき

## 答　65歳以上から12歳以上に拡大する

大石　法子議員

Q　ＰＣＲ検査の助成対象者の拡大を考えてはどうか。

A　当初は高齢者を優先する対策で進めてきたが、現在の状況は、若年層の感染者が増加傾向にあるので、９月１日から検査対象者を65歳以上から12歳以上に拡大する。

### コロナ禍における災害対応は

Q　避難所における感染の疑いがある避難者のゾーニングをどうするか具体的に伺う。

A　新型コロナウイルス感染症への感染の疑いがある避難者及び濃厚接触者については、中央公民館２階を専用の避難区画としている。各避難所において、検温や聞き取りにより、体調不良の避難者の把握に努めるとともに、体調不良者が出た場合には、中央公民館裏口から２階に移動していただく。

### 通学路の安全対策を

Q　八街市で起きた痛ましい事故を受け、当町でも通学路の安全点検を行っていただきたいと思うが、危険箇所とその対応を伺う。

A　町では平成24年度から継続して通学路点検を実施しており、今年度も各小・中学校教職員やＰＴＡ代表、佐倉警察署、千葉国道事務所酒々井出張所、印旛土木事務所、役場等と合同で７月28日に８箇所の安全点検を行った。今後は、これまで以上に児童生徒への交通安全指導を徹底するとともに、各道路管理者と連絡をとりつつ、速やかに対策が行われるよう努めていく。

### ～ 今年度実施した点検箇所 ～

①酒々井小学校正門前
②酒々井小学校裏門前
③町役場入口交差点から八坂神社近辺
④上本佐倉交差点
⑤宮本歯科前横断歩道
⑥大室台小学校校門前の住宅擁壁
⑦飯積の伊豆神社から尾上浄水場までの道路
⑧国道２９６号オガワのピーナッツからＪＲ線殿辺田踏切付近

# 問 通学路の交通安全の確保について町の対応は

## 答 関係機関と現地確認や協議しており、児童生徒にも指導している

酒瀬川 芳子議員

**Q** 酒々井町の通学路における危険箇所の割り出しと対応はどのように進めているのか。

**A** 学校が保護者からの情報や要望を集約して町教育委員会へ報告し、さらに町教育委員会が実際に現地を確認した上で点検箇所を決めている。7月に実施した合同点検の中で、関係機関等と協議しており、危険箇所は児童生徒に指導し、事故防止に努めている。

**Q** 通学路点検の参加者の選定はどのように決められているのか。

**A** 平成26年8月に策定した「酒々井町通学路交通安全プログラム」に基づき参加者を選定している。

### 県道宗吾酒々井線の交通安全対策は

**Q** 県道宗吾酒々井線の道路拡幅整備が行われているが、事業の進捗状況をどのくらい把握しているのか。

**A** 印旛土木事務所より、8月末時点の用地取得率は約24％、歩道の整備済み延長は約80ｍと伺っている。

**Q** 県道宗吾酒々井線は酒々井小学校の通学路でもあり、大型車進入禁止の道路にも関わらず大型車が進入しているが、取り締まりの徹底を警察に強く要望しているのか。

**A** 機会があるごとに警察に対し、取り締まり等を要望しており、引き続き、要望していく。

### 町管理の樹木について

**Q** 役場から中央台までの「さわやか中央通り」の銀杏の木は無電柱化工事に伴い、伐採したが、工事終了後の計画は。

**A** 歩道内の電柱をなくし、誰もが安全・快適に利用できる歩行空間を確保するため、工事終了後、新たに樹木を植える計画はない。

無電柱化を進める「さわやか中央通り」

**Q** ＪＲ酒々井駅東口と西口の広場にはヤマモモの木が植栽されており、果実が落ち、通路を汚し、景観的、衛生的に悪いが、町の対応は。

**A** 6月に一部、伐採・剪定をしたが、今後も適宜剪定等を実施していく。

# 問 墨入口交差点に右折レーンの設置要望を

## 答 概略設計が実施されており、町も協力していく

金塚　学議員

**Q** 墨入口交差点の国道296号線には右折レーンが設置されているが県道77号線と東酒々井側の道路には右折レーンが設置されていない。道路管理者である県と協議を繰り返されているが、問題解決に向けて進捗状況はどのようになっているのか改めて伺う。

**A** 令和元年度に印旛土木事務所により右折レーン設置のための概略設計が実施されており、町も用地交渉の支援等、協力していきたい。

### 通学路の安全対策を

**Q** 6月に八街市の市道で、歩いて下校中の小学生の列に飲酒運転をするトラックが突っ込み、5人が死傷する痛ましい事故が発生した。町では9年前から夏休みに通学路安全点検を行い事故防止が図られ、速度規制や通学路の表示などさまざまな対策をされている。しかしながら、今回のような事故を防止するには、運転者のモラルに頼るのは限界があり、通学路の構造上の変更が必要と考えるが、研究や考察は行っているのか伺う。

**A** 町教育委員会では毎年、通学路の安全点検を実施しており、その際、国土交通省、印旛土木事務所、佐倉警察署等の方にも参加していただいており、その際、専門的な立場から通学路の道路として構造改善についてご意見等をいただきながら、児童生徒の安全を確保するよう努めている。

### 町職員等のワクチン接種状況は

**Q** 現在町では、町内での感染者やクラスター発生を抑えるため、町外からの在勤者もワクチン接種が受けられる制度があるが、町職員、町立小中学校職員、町立保育園、町内にある消防署職員など公共施設などに勤務される方の接種状況はどのようになっているのか伺う。

**A** 小中学校、保育関係施設職員のワクチン接種は7月26日から、役場職員は7月30日から開始し、町に関係する職員は概ね接種を行っている。また、消防署職員は医療従事者として6月に終了している。

# 問 コロナ禍で町税は減少している 町独自の対策は

## 答 企業誘致等の施策を進めている

須藤　伸次議員

コロナ禍が収束どころか、拡大している現在、ますます国からの補助金が減り、また町税も減少している今、町独自の解決策・改善策が必要と考えるが、次の点について具体的に伺う。

**Q** 町民減少の解消策

**A** 町では、子育て支援の充実に向けた取り組みや地方創生の取り組みを中心に、子育て世代が住んでみたい・住みやすいまちづくり等の施策を行っている。また、企業誘致や酒々井ＩＣ周辺の有効活用を検討し、雇用機会の確保に向けた取り組み等を進めていく。

**Q** 京成駅前周辺の活性化策

**A** 京成酒々井駅周辺で民間事業者による開発計画はないが、計画があった際には、関係機関等と連携しながら適切な都市機能の誘導に努めていく。

**Q** ＪＡ跡地活用の進捗状況

**A** 建物の改修にはエレベーター設置など多額の費用を要するため、予定していた建物の耐震診断を行わずに建物を除去し、アウトレットの来客者などを中心市街地に誘客することを目的に駐車場としての利用を検討している。

店舗部分は、現在「木曜市」や「もってけ市」などに利用されている。

旧ＪＡ跡地（東酒々井一丁目）

**Q** 企業誘致の進捗状況

**A** 企業立地や雇用促進の奨励措置により積極的に企業誘致を進めている。墨工業団地には、大手不動産仲介業者が上場企業の工場建設の調査を行ったが、コロナ禍により見送られた。なお、当該企業は墨工業団地に大変興味を示しており、コロナが収束した際には改めて検討したいとのことである。

**Q** 町有地の有効活用

**A** 使用予定のない町有地は、一部有償で貸し付けている。活用していない土地は、多くが形状等から使用は難しいが、活用を検討していきたい。

# 問 ワクチンの接種状況は

## 答 若年層は低い傾向にある

佐藤　修二議員

一都三県のコロナ感染者数が急増し、毎日のように最多を更新していると報道されている。県内の感染状況も8月末には1700人を超す数値が見られた。当町の感染者数も8月末には200人を超える数値となった。町は緊急事態宣言を受け、イベントの中止や公共施設の利用禁止、公民館が貸館中止となり、各サークル団体にも緊急連絡が出されている。このような状況下において、次の点を伺う。

**Q** 緊急事態宣言を受け、町は感染対策について町民にどのような要請を出されたのか。

**A** 防災無線や広報車でワクチン接種等の呼びかけを行っている。また、65歳以上を無料としているPCR検査を12歳以上とし、若年世代の感染防止の対策を開始し、町ホームページやツイッターなどで案内をしている。

**Q** コロナ感染に関する情報が少ないが、町内での家庭内感染や勤め先等でのクラスター発生状況を伺う。

**A** 家庭内感染の具体的な状況は印旛保健所が把握しており、町は県の公表で感染者の情報を確認している。感染した一部の方から町に直接連絡が入るケースがあり、連絡のあった在宅療養の方には希望により衛生用品などの物資の支援を行っている。また、集団感染となった事業者などは早い段階で直接町に連絡が入るので、マスク等の物資の支援を行っている。

**Q** 町内の若い人たちや40歳代から60歳代のワクチン接種状況

**A** 町の総人口での接種率は1回目72・1％、2回目60・9％となっているが、若年層の接種率は低い傾向にある。

保健センター内に設置されている
コロナワクチンコールセンター

## 問 法的措置があるのに、特定空家等にしない理由は何か

## 答 所有者にとっては財産となるので、慎重な判断が必要

白井　則邦議員

**Q** 特定空家等と判断し、法的措置の必要性があると町が考えている物件は何件か。

**A** 現時点で法的措置の必要性があると町が判断している物件はないが、平成28年度空家等実態調査の結果で危険度が中程度及び危険度が大きいと判断され、今後そのまま放置すれば特定空家等となる可能性のある空家は10件ある。

**Q** 現時点で、特定空家等の認定がされていないのであれば、特定空家等にしない理由は何か。

**A** 空家特措法に基づく特定空家等に対する措置は、所有者等にとって財産権の制約を伴う行為が含まれていることから、特定空家等の判断は慎重に行う必要がある。現在は、適正に管理するよう所有者に対応を働きかけており、引き続き、所有者への働きかけを行うとともに、今後、調査結果や酒々井町空家対策協議会等において学識経験者の意見などを踏まえ、法的な措置の必要性についても検討していきたい。

### プラスチック資源循環促進法への対応

**Q** 来年施行予定のプラスチック資源循環促進法に対応するために、プラスチックごみの分別収集を検討しなければならないと考えるが、町民生活に生じる影響や、そのコストをどのように考えているか。

**A** 本法律の施行後、不要プラスチック製品は、ごみとしての収集から資源回収という概念に置き換わるので、当町では、ごみと資源物の分別・収集体系の見直しと運用などの準備が不可欠となる。これらに係る経費は、詳しい制度設計や補助金等の内容がまだ示されていないので、現時点では試算できないが、今後の動向を見極めかつ、町民の日常生活への影響を考慮して慎重に検討していく。

## 問 町長の資産報告の内容を公開すべき

## 答 条例に基づき公開している

齊藤　博議員

町長の資産報告について伺う。

**Q①** 「借入金」には「抵当権が設定された額」を含むのか。

**Q②** 借入金の額が、平成26年報告から増大しているが、その理由は何か。

**A①②** 資産報告については条例に基づき公開しており、6月議会で答弁したとおりである。

### 家族介護慰労金支給事業の見直しを

**Q** 支給対象者が少ないのは、制度設計が町民の要望とズレているからではないか。

**A** 要介護3以上で介護サービスを利用せずに在宅介護を家族が行っている方に対し、慰労金を支給する制度であり、当該家族の負担軽減と福祉増進を目的としている。介護認定を受けて在宅生活をしているほとんどの方は必要な介護サービスなどを利用しており、介護を望んでいる方に適切な支援が行き渡っていると考えている。

### 今後のちびっこ天国の活用は

**Q** 休園して5年、今後の活用方針が決められない理由は何か。

**A** 3月に京成電鉄㈱と締結した「空き家等対策に関する協定」に基づき、既存施設の利活用の可能性について勉強会を行い、ドッグランやキャンプ場などさまざまな提案があったので、事業の実現性について検討していく。

利活用を検討している酒々井ちびっこ天国

### JA跡地の活用方法は

**Q①** 取得から2年近く経過しているが、活用計画を伺う。

**Q②** 用地取得の際、町長は何に活用しようと考えたのか。

**A①②** 建物の改修にはエレベーター設置など多額の費用を要するため、予定していた建物の耐震診断を行わずに建物を除去し、アウトレットの来客者などを中心市街地に誘客することを目的に駐車場としての利用を検討している。店舗部分は、現在「木曜市」や「もってけ市」などに利用されている。

**ことば** 特定空家等とは、放置により周囲に悪影響をおよぼす危険な空家のことです。特定空家等を市町村が判定し、所有者に助言、指導、勧告、命令及び行政代執行ができることとなっています。

## 問 新設制度として近隣市町で行っている分娩者手当金の創設を

## 答 本年4月からの新生児1人に対して10万円を給付する

小早稲 美穂議員

酒々井町の子ども子育て支援について次の点を伺う。

**Q** 教育委員会だけでなく、町には安全安心担当官がいることから、全庁的に協力し、警察や交通安全協会の方々と連携し、ボランティアだけではカバーしきれない場所への見守りこそが重要だと考えるが町の考えを伺う。

**A** 安全安心担当官が中心となり、学期始め、学期末の登下校時に安全パトロールを実施している。また、交通安全週間には、佐倉交通安全協会酒々井支部と連携して登下校時の見守りやパトロール、啓発活動を実施している。さらに、防犯ボックス職員による日々のパトロール・見守り・街頭監視なども行われており、佐倉警察署にも登下校時のパトロールを依頼し、実施してもらっている。

**Q** 妊活・妊婦期から子育て期までの町独自の支援制度等を伺う。

**A** ママパパ歯科検診、妊婦乳児支援タクシー助成事業、ブックスタート事業がある。

**Q** 新制度として、近隣市町で行っている分娩者手当金の創設を提案するがいかがか。

**A** コロナ対策として昨年度の特別出産給付金事業を今年度も実施するため、補正予算を計上しており、承認をいただいた後に、本年4月からの新生児1人に対して10万円の給付を行い、コロナ禍で不安を抱える妊娠期を過ごし、出産した母親の支援を行っていく。

**Q** 町内制服販売店は何軒営業し、今後の継続状況を確認しているのか。

**A** 町内に2店舗あり、今後、数年間は、酒々井中学校の制服販売を継続していく予定である旨を伺っている。

**Q** 通学用カバンは、成長期の子どもたちの骨格のバランス崩れ予防や自転車通学等の生徒の安全のため、現行のカバンにリュック型を追加し、制服は、交通安全とジェンダーフリーに対応したブレザーやスラックスなどのデザインに変更を検討する考えはないか。

**A** 数年前にリュック型を検討したが、価格等の関係で見送った。今後、保護者・生徒の意見を踏まえつつ、中学校と協議を進めていきたい。

## 問 乗り上げブロック設置による事故が問題化している

## 答 設置は違法であり、注意喚起を行っている

御園生 浩士議員

**Q** 町の顔としている旧莇吉五郎邸を中心に、秩序ある旧町並みを保存するため、京成及びJR酒々井駅前の高度利用を促進するための都市計画の見直しが必要と思うが町の考えを伺う。

**A** 旧莇吉五郎邸を中心としたエリア、京成酒々井駅及びJR酒々井駅の駅前エリアについては、都市計画上、市街化区域となり、用途地域も定められていることから、現時点では都市計画を見直す予定はない。

**Q** 道路上への乗り上げブロック設置による事故が社会問題化しているが、町内の乗り上げブロック設置不可の理由、全箇所数、固定化工事は許可しているのか3点について伺う。

**A** 乗り上げブロック設置は、道路法第43条第1項第2号の「みだりに道路に土石、竹木等の物件をたい積し、その他道路の構造又は交通に支障を及ぼす虞（おそれ）のある行為をすること」に該当し、道路に関する禁止行為となる。町道に設置されているものについては、毎年広報において注意喚起を行っており、今後も引き続き実施したいと考えている。

なお、町が道路管理者として乗り上げブロック設置の許可を出すことはない。

乗り上げブロックは、転倒事故等、思わぬ事故の発生原因となります

**Q** 京成及びJR両酒々井駅前の町有地にあるコインパーキングの契約年月日とその経緯を伺う。

**A** 両駅前の町有地は駐車場用地として有効活用を図るため、3社から見積を徴し、最も価格面で有利な事業者を選定し、JR酒々井駅前は平成20年1月28日、京成酒々井駅前は平成20年11月28日に土地賃貸借契約を締結した。なお、現契約は両駅前とも令和2年11月5日に更新した。

町有地を民間事業者に貸出し整備された駐車場（JR酒々井駅西口）

## 問 JA跡地購入の際「老朽化」「多額の改修費用」は見込まれていたはず

## 答 中心市街地への誘客を図るため、駐車場として活用を検討する

竹尾 忠雄議員

**Q** 町は旧JA東酒々井支店の購入時の説明で「地域振興の施設として考えている」として、建物の耐震診断費用363万円を予算化したが、未だ発注されていないが、その理由を伺う。

**A** 建物の老朽化等により、誰もが使用できる施設とするには多額の改修費用が見込まれるため、耐震診断業務を行わずに建物を除去し、アウトレット等からの誘客を目的とした駐車場として利用することを検討している。

### 安全な通学路の整備は急務

**Q①** 危険な通学路の調査結果は。

**Q②** 「失う命はないように」危険な通学路の改善計画を伺う。

**A①②** 小・中学校職員や佐倉警察署等と合同で8箇所の通学路安全点検を行った。（点検箇所はP9大石議員の欄を参照）これまで以上に児童生徒への交通安全指導を徹底するとともに、道路管理者と連絡をとりつつ、速やかに対策が行われるように努めていく。

### 生産者米価が大暴落している

**Q** JA成田市の21年産米価はコシヒカリ1等米買取価格1俵（60kg）9，000円、早生品種は7，200円となった。生産者は20年以上米価下落等に苦しめられてきた。政府の米政策の下でかつては1俵平均22，000円を超えていた。他方、農水省の調査では米1俵の生産経費は15，000円を超えている。首長として生産者に寄り添い政府に対策を求めるよう要望すべきと思うが、町長の考えを伺う。

**A** 千葉県町村会を通じて要望したい。町では加工用米に取り組む農業者への補助金を増額するなど、生産調整の推進に努めていく。

### 緊急車両が通れるよう町道の整備を

**Q** 下岩橋青年館より県道から京成宗吾参道駅へ通じる町道はクランク状で緊急車両が通り抜けられない。以前アパートで火災が発生し大変だった。周辺には住宅が70世帯以上ある。住民の生命と財産を守るために早急な改善を要望する。

**A** 緊急車両が進入できるように、建物の建て替え等に伴うセットバックに加え、拡幅や避難スペースの確保等、現道を活かした改善を図っていく。

## 問 新入学準備金の増額を

## 答 来年度より増額するため、協議をしている

地福 美枝子議員

6月議会で要望した教育関係3点について伺う。

**Q** 準要保護基準を1．0に引き上げ

**A** 就学援助の所得基準の引き上げは、今後の申請状況や近隣市町の動向を確認しつつ、見直しを検討していく。

**Q** 新入学準備金の増額

**A** 小学校入学時に40，600円、中学校入学時に47，400円支給しているが、令和4年度より増額すべく、具体的に協議を進めている。

**Q** 生理用品を女子トイレに設置を。

**A** 各学校の保健部会や小中学校校長会で協議した結果、教員の目の届かない場所への配置は、管理上及び衛生上問題があり、保健室で養護教諭からの提供が望ましいとの意見であった。また、児童生徒と養護教諭が直接コミュニケーションをとることにより、個々の家庭状況に応じたきめ細かな対応が可能となることから、町教育委員会も同様の考えをもっている。

### 国保税の負担軽減をすべき

**Q** 政府は国保税均等割を6歳まで半額にするとしたが、それに要する金額と対象人数は。

**A** 6歳までを半額とした場合の対象世帯数は60世帯、人数は74人、軽減予算額は約83万円となる。財源は、国が2分の1、県と町が4分の1ずつ負担することになる。

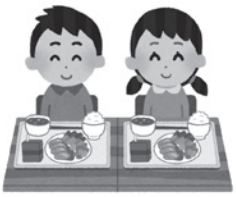
**Q** 18歳未満までの国保税均等割を半額にした場合の金額と対象人数は。

**A** 世帯数は180世帯、人数は282人、軽減予算額は約300万円となる。

### 学校給食費の負担軽減をすべき

**Q** これまでに第3子以降は無償となっているが、さらに第2子までを無償にした場合に要する金額と対象世帯・人数はどれ位か。

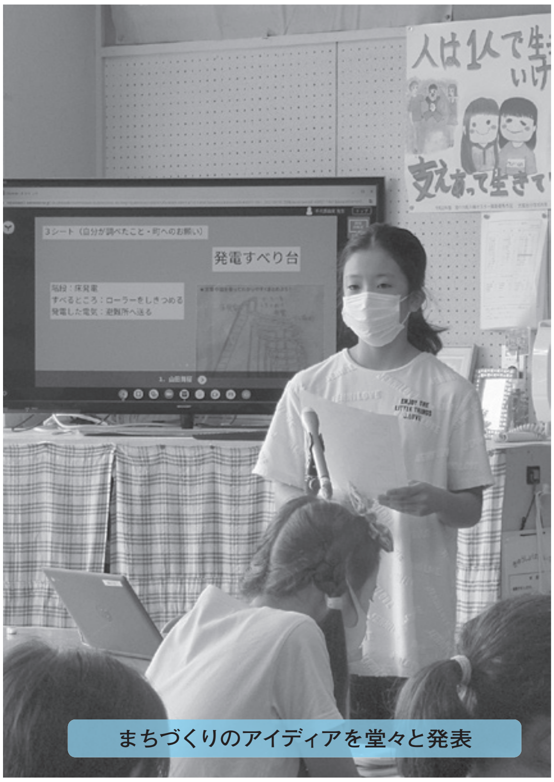
**A** 負担軽減策を拡充した場合、対象者は587世帯、696人、年間3，637万円が必要になる。



ことば　新入学準備金とは、小中学校の新一年生となる児童生徒の保護者で経済的理由により就学困難と認められるご家庭に学用品等の購入相当額を入学前に支給するものです。

町の職員が選挙についてわかりやすく説明

実際の選挙さながらの模擬選挙を体験




まちづくりのアイディアを堂々と発表

## 小中学生のまちづくり

# 身近な地域課題など小中学生の視点から質問・提案

## ふるさと学習を通した主権者教育の推進

町では、独自のふるさと学習「酒々井学」の一環として、小中学生の主権者意識を育むことを目的にこども模擬議会が行われています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策等を考慮し、開催中止となりましたが、代わりに酒々井小学校、大室台小学校、酒々井中学校の代表15名から質問書が町に提出されました。

### 小学生代表者は 模擬選挙により選出

各小学校では、6年生が夏休み中に町の生活環境を調べ、現状と課題を調査し、改善するためのまちづくりプランをまとめました。9月には、各学級でまちづくりプランの発表会があり、その後、実際の選挙で使われる記載台と投票箱を使用した模擬選挙が行われ、各学級から代表者が選出されました。

### 3年前にこども議員として 提案したプランの進捗を質問

中学校代表者からの質問の中には、小学生の時にこども議員として提案したプール施設導入についての進捗状況を確認する質問が提出され、その他には、コロナ禍におけるごみの収集、町のホームページに関する提案など、身近な地域課題、町の活性化や交通・施設整備、将来のまちづくりについて、小中学生がそれぞれの視点で質問・提案しました。

町からは、録画による町長の答弁が用意され、答弁書と一緒に各小中学校へ渡され、答弁には町長より「酒々井町と未来の発展のため、勉学やスポーツ・芸術活動に、より一層励まれ、大きく成長されますことを期待しております。」とメッセージが添えられました。

※詳しい内容は、今後、広報に特集記事を掲載予定です。

### 12月定例会のお知らせ

次の定例会は、12月14日に開会する予定です。

なお、感染症予防対策として、本会議場内で傍聴できる人数を制限する場合があります。傍聴を希望される方は感染症予防対策へのご協力をお願いします

また、議場は分庁舎2階第2多目的室に移転しています。

詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎（496）1171
（内線271、272）

### 編集にあたって

今回は文書質問が初めて用いられました。議会も、コロナ対策と議会の権能との両立を模索しています。ご意見があれば議会までお寄せください。

**委員長** 酒瀬川 芳子
**副委員長** 白井 則邦
**委員** 江澤 眞一
**委員** 御園生 浩士
**委員** 大石 法子
**委員** 小早稲 美穂

ことば　主権者教育とは国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくことです。

# 小中学生の提案力

こうすれば町は
もっとよくなる！

## 体育館を健康でより安全な避難所に

酒々井小学校
下条（しもじょう）　拓知（ひらと）　さん

空気清浄機やエアコンを設置することで、コロナ禍においても健康でより安全な避難所になると思います。

## 中央公民館を子どもたちが自由に利用できる施設に

酒々井小学校
越川（こしかわ）　桃菜（ももな）　さん

学習スペースや運動を楽しむスペースなど子どもたちが自由に利用できる施設があれば町の活性化につながると思います。

## 公園に発電ブランコを設置して災害時の電源を確保

酒々井小学校
山﨑（やまざき）　莉菜（りな）　さん

避難所の小さな子がストレスを発散する中で発電もできれば、大人にも子どもにも安心して過ごすことができると思います。

## 駅の空きスペースに床発電を使ったケンケンパの設置を

大室台小学校
山口（やまぐち）　陽菜乃（ひなの）　さん

駅のスペースの有効活用や子どもの遊び場が確保でき、発電した電気は駅で使ったり、余った電気を貯めて災害時に使用したりすることもできます。

## 公園にリサイクルボックスの設置を

大室台小学校
土本（つちもと）　琉真（りゅうま）　さん

回収する場所を公園にすれば、簡単に行くことができます。リサイクルボックスの横には通常のごみ箱も設置して、一般のごみを入れるのを防ぎたいと思います。

## ポイ捨てを注意喚起する標語入り掲示板の設置を

酒々井中学校
今井（いまい）　美玖（みく）　さん

大人がマナーを守れていなければ、小さな子どもの美化意識は向上しないと思います。ポイ捨てをしないように注意喚起する標語入りの掲示板を設置すると効果があると思います。

## ３年前の回答からどのような進展があったのか

酒々井中学校
横田（よこた）　真穂（まほ）　さん

湯楽の里は、アウトレットが近くにあり、温泉にも入れるという利点から、温水プールを導入し、子どもや家族が楽しめる施設となれば町の活性化にもつながると考えます。

## 高齢者の方の避難負担が少なくなる避難所の指定を

酒々井中学校
遠藤（えんどう）　柚乃（ゆの）　さん

高齢者が災害時に長くて急な坂を登って避難所に向かうのは大変だと思います。避難の負担が少なくなる避難所指定という考えが大切だと思います。

## コミュニティバスを導入し移動の不便さを解消

酒々井中学校
鈴木（すずき）　芽衣（めい）　さん

自動車の運転をしない方のためにバスの交通網を整備し、４つの駅と役場や病院等を結ぶコミュニティバスを導入し、町内の移動をしやすくすることが必要だと考えます。

## 酒々井の顔である駅に賑わいがないのは残念

酒々井中学校
村本（むらもと）　日和（ひより）　さん

高校見学などで他の駅を訪ねる機会が多くあり、酒々井駅との違いを実感しています。商業施設を誘致することの難しさは理解していますが、チャレンジしていただきたいと思います。

## 獅子舞保存会を結成し練習会の企画を

酒々井中学校
成毛（なるげ）　莉音（りのん）　さん

現在、歴史ある町の獅子舞を継承する若い世代が少なくなってきています。このままでは、いつか町の獅子舞が途絶えてしまうのではないでしょうか。

## 障がい者支援の取り組みを広報誌やホームページで紹介

酒々井中学校
川﨑（かわさき）　晴也（はるや）　さん

健常者と障がい者を別にせず、多くの人がたくさんの活動を共にできる町にしたいと思っています。障がいに関する知識を持ち、障がいについて正しく理解することが大事だと考えます。

## 移住の時に町からの補助を

酒々井中学校
寺坂（てらさか）　さなみ　さん

現在の町の課題は、農業従事者の減少と高齢化、ボランティア活動の参加者が少ないことだと考えます。若い世代の移住のために、具体的な政策が早急に求められていると考えます。

## 画像や動画を取り入れて視覚的に見やすく

酒々井中学校
中平（なかひら）　沙希（さき）　さん

町のホームページは、文字が多く、見やすいとは言い難いものだと思います。ホームページを見やすくするだけで、町の第一印象が大きく変わり、町の魅力を知ってもらえると思います。

## ゴミ置き場の状況を調査し拡散する等の対策を

酒々井中学校
颯佐（さっさ）　友理香（ゆりか）　さん

毎週ゴミ回収の日になると、朝早くからゴミ回収ボックスの中が一杯で、ゴミを入れられないことがあります。ゴミ置き場の現在の状況を調査し、拡散する等の対策をすると良いと思います。